

- 研究要旨 -

カラマツ中小径材の農業用構築物への利用

伊藤 勝彦 小倉 高規*

The Application of Small Larch Logs to Farm Buildings

Katsuhiko ITO Takami OGURA

はじめに

カラマツ材の利用促進は北海道の重要施策となっており、特に、中小径材の用途開発が求められている。

カラマツ中小径材を製材して、建築部材として利用する場合に心持ち材の割合が多くなり、乾燥に伴う割れ、曲がり、ねじれなどの欠点が出やすく、現状では一般建築材として利用されにくい状況にある。このようなカラマツ中小径材を主要部材として使用するために農業用構築物を対象として開発を進めてきた。

対象となる農業分野では畜産部門における畜舎建設費の高騰、鉄骨ブロック造畜舎の結露および畜舎内環境の改善などが問題とされており、畜産関係者の助言を得て、畜舎として実用化に至っている。

なお、本報は日本木材学会北海道支部大会（昭和56年11月、札幌市）で発表したものの要旨である。

構造および施工

この建物は、防腐処理をしたカラマツ丸太を地中に深く埋めて柱とし、それに壁、屋根を取り付けていくもので、小屋組には現場で組み立てが可能な、合板ガセット釘打ち接合トラスを用いた、内部に柱のない建物である。

構造の概要は第1図に示すようなものである。

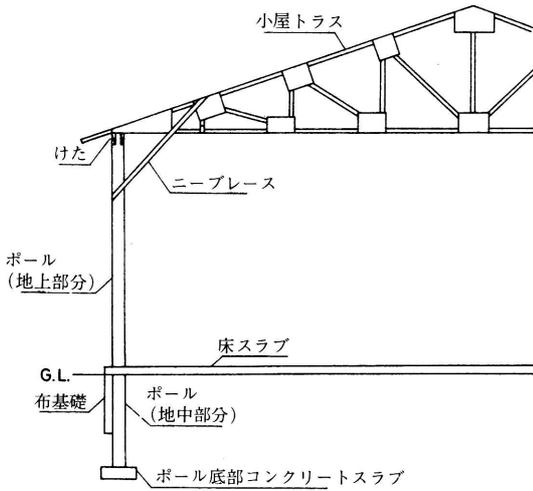
この構法による建物を農業用PT型ハウスと呼び、農業用建築施設を対象とし、設計標準仕様書が作られている。

建設例

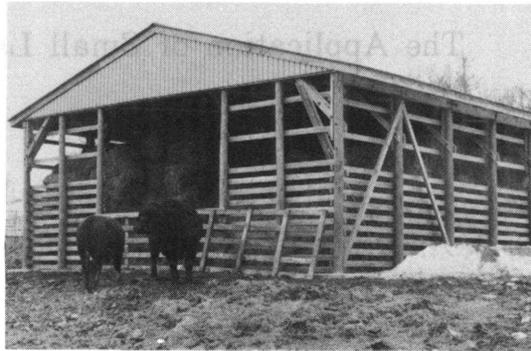
これまでに建設されたPT型ハウスを第1表に示す。PT型ハウスの牛舎を第2図に、乾草舎を第3図に示す。

第1表 農業用PT型ハウス建設例

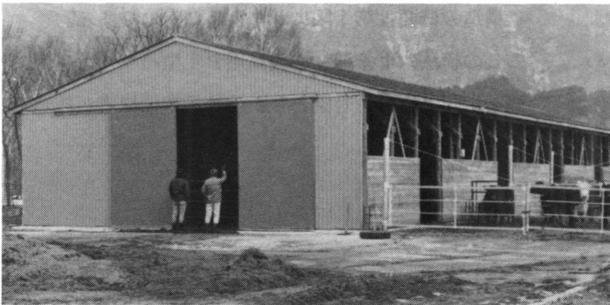
| 着工年月 | 建物の種類 | 建設地 | 規模 (間口×桁行) | 建設費 (千円) | 坪単価 (千円) | 備考 |
|-------|-------|-------|------------------|-------------|-------------|-----------------------|
| 55.8 | 育成牛舎 | 帯広市 | 6間×10間 60坪 | 2,561 | 43 | 床コンクリート、基礎なし 南面壁なし |
| 56.9 | 肥育牛舎 | えりも町 | 6.5間×18間 117坪 | 9,350 | 80 | 床コンクリート 布基礎 |
| 〃 | 乾草舎 | 〃 | 5間×6間 30坪 | 2,231 | 75 | 床コンクリート、布基礎 壁なし |
| 56.10 | 肥育牛舎 | 秩父別町 | 6間×10間 60坪 | 5,281 | 88 | 床コンクリート 独立基礎 |
| 54.10 | 実験構築物 | 林産試験場 | 5間×6間 30坪 | 2,290 | 77 | 床コンクリート、基礎なし 壁なし |



第1図 構造の概要



第3図 えりも乾草舎



第2図 えりも肉牛肥育牛舎

- 林産化学部 木材保存科 -
 - *副場長 -
 (原稿受理 昭57.4.6)

〔林産誌月報 1982年6月〕